



熱い声援と 大きな拍手

～最後まであきらめず全力で戦おう～
泉台小学校運動会

6月1日、泉台小学校で第33回運動会が行われました。競技には今年度から変更した種目があり、昨年度まで児童と保護者がともに行っていた「大玉送り」は、全校児童による「全校大玉リレー」とPTA種目「熱闘！綱引き合戦」とに分けて行われました。背丈ほどの大玉を友人と協力し合い、声を掛け合い、ゴールに向けて運ぶ姿に熱い声援が送られました。大人が行う綱引きは、種目名の通り熱闘。真剣な姿、迫力ある姿に、見ている子どもたちは目を丸くしていました。

低学年種目の表現「エイサー（令和Ver.）」では、かわいらしい中にもキビキビした動きが、観る者の心を惹きつけていました。

低学年全員によるリレー「バトンをつないで」では、チームのために一杯走る姿が大きな声援を集め、高学年全員リレーでは、抜きつ抜かれつの迫力に高学年らしさを感じました。

運動会の華、高学年種目の「組体操」では、指先や足先まで緊張感を持った演技と姿に、会場にいた多く



の観客から大きな拍手と歓声があがり、感動から涙を浮かべる保護者も見られました。

「最後まであきらめず全力で戦おう」をテーマに、全校児童がそれぞれの力を出し切り、満足した笑顔が印象に残った運動会となりました。

飯山市スポーツ推進委員紹介

◎竹内 亨 (飯山)	○村越 実 (瑞穂)
根食 しのぶ (飯山)	小嶋 英治 (柳原・富倉)
中村 香織 (飯山)	関 孝和 (外様)
大平 剛志 (秋津)	齋藤 真彦 (常盤)
堀田 学 (木島)	小川 直樹 (太田)
渡邊 一聖 (岡山)	田中 淳 (岡山)

※◎会長 ○副会長 (敬称略)
推進委員は、スポーツ振興の担い手として小学校親子レクやニュースポーツ教室等を実施。スポーツ指導等の依頼は随時受付けております。ぜひご依頼ください。(スポーツ推進室スポーツ推進係 ☎3111)

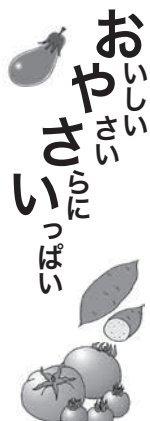
スポーツ振興功労者表彰

【功労表彰 渡邊幹雄 様 (秋津)】 写真中央左
日本リーグトップチームの招待試合実現や日本体育大学の合宿誘致などを通じ、長年にわたり多くの子どもたちやバレーボール愛好者のスキルアップと振興に貢献されました。

【栄光表彰 小笠原 舜 様 (瑞穂)】 写真中央右
第56回全国中学校スキー大会クラシカル男子5km、男子リレー(長野県選抜)において優勝。子どもたちに希望を与えるとともに、市民に明るい話題を提供してくれました。



秋津保育園には広い畑があり、子ども達は植える苗の話し合いから始め、苗の購入にも行きます。先日、子どもたちは土の感触を楽しみながら、ジャガイモ・トマト・ピーマン・ナスなどを植えました。畑の草取りや水やりも、楽しい作業。収穫時には、お世話になった方々を招いての焼き芋会等、楽しみは広がります。子どもたちは、畑を通し、食材が自分たちの口に入るまでの多くの作業と、たくさんの方との関わりを知ると同時に、食べることの大切さや楽しさを学んでいます。



「人権の花」運動が始まります

「人権の花」運動は、昭和57年度から行われ、児童が協力して花を育てることで、いたわり、思いやりの気持ちを育み、命の大切さなどの学びを目的としています。

市では3年に1度、小学校全校が取り組んでおり、今年度は実施年になります。6月以降、各校で花苗の植栽を行います。学校訪問の際は是非児童の取り組みをご覧ください。



びっくり!? 今の教科書展示会

令和2年度から小学校で使用する教科書などを展示します。新学習指導要領による初の小学生英語教科書等。ぜひ手に取ってご覧になりませんか。

【場 所】 飯山市立図書館
【期 間】 6月21日(金)～7月10日(水)
【時 間】 平日 午前9時30分～午後6時
土・日曜日 午前9時30分～午後5時
【休館日】 月曜日(6/24、7/1,8)

人権 学習シリーズ

人権意識を 常に磨く事の大切さ

飯山市立城南中学校長
高橋 信一郎

本校では、自分の大切さと共に他の人の大切さを認めることができるようになる事、そして、それがさまざまな場面や状況下で、具体的な態度や行動に表れると共に、人権が尊重される社会づくりへの行動につながるようにする事を目的に、日々の学校生活を送っています。

昨年度、人権教育強調期間中に各学級で取り組んだ「人権標語作り」における生徒作品をいくつか紹介して、日常から自分の人権意識を磨くことの大切さを感じていただければと考えます。

「認め合うそれが人の歩む道」「無意識に傷つく言葉言つてない?」「聞こえてる? 私の気持ち本当に?」

自分を大切にしながらも相手の気持ちを考えて毎日の学校生活を送ることの大切さを呼びかけた作品です。

「あいさつは人の心に花咲かす」「ありがとう」心に残るその言葉」「大丈夫?」その一言で救われる」「ありがとう」言葉一つで世界変わる」

一人では生きていけないこの世の中で、相手を意識した言葉がけをすることの大切さを呼びかけた作品です。

「肌の色 言葉の種類は違っても忘れないで皆、同じ地球人」「思っていること 言葉にしないと伝わらない 伝えてみよう君の言葉で」「伝えてる? あなたの心に 秘めたもの 伝わっている? 私の心の深い傷」

これからも学校生活の中で人権意識を磨きながら過ごしていかなければと思えます。